

防コミの歩き方



川と共に生きる ～ 篠原防災福祉コミュニティ ～

篠原防災福祉コミュニティは、灘区の中央を流れる都賀川の上流に位置します。都賀川は六甲山系を源流とする六甲川と^{そまたに}杣谷川を起源とし、その合流地点から河口までの呼び名です。延長距離は約1.8km。都賀川部分だけで約50mの高低差があるため、とても急勾配な河川です。

篠原防災福祉コミュニティの地域には、篠原台→伯母野山→篠原北町→篠原本町→篠原中町と六甲川が流れ、長峰台→五毛地区→篠原中町と杣谷川が流れ、篠原中町で二つの川は合流します。合流した後には都賀川と名前を変え、下流の篠原中町までが篠原防災福祉コミュニティの地域です。

篠原防災福祉コミュニティの、年間を通じての主な活動は以下のとおりです。

1 灘消防署主催のファイア・アドベンチャーへの参加

灘区の小学校が一斉に集っての防災訓練へ指導者として参加します。

2 六甲小学校防災訓練

小学校がおこなう防災訓練へ指導者として参加します。

3 都賀川見守り検証訓練

都賀川で発生した増水による死亡事故を検証する訓練へ参加しています。

4 防災機材庫の巡回点検

篠原防災福祉コミュニティが管理する3カ所の防災機材庫を順次点検して回るもので、資機材の点検、整備と取り扱い訓練をおこなうものです。

5 勉強会の実施

防災に寄与する地域や施設への見学会や講演会を企画して実施しています。例を挙げるなら、人と防災未来センター、佐用町の災害現場検証、神戸市民防災総合センターでの講習などがあります。

6 地域住民への防災訓練の実施

例年地域福祉センターと篠原北町公園を利用して、篠原上婦人会の協力を受けて地域住民や児童に対し防災啓蒙訓練を実施しています。バケツリレーや消火器取り扱い訓練等とともに婦人会による炊き出し訓練もおこない、総勢100人ほどの参加を得ています。



篠原防災福祉コミュニティでは近年大型マンション増加の関係もあり、地域住民人数は増加傾向にあります。しかし一面地域としての一体感を保つことが難しくなっています。地域住民を交えた訓練を実施するなどの地道な活動を継続することで、地域住民への啓蒙、特に児童や若い保護者の方に防災への興味を持ってもらい、起きてほしくない災害に備えたいと思っています。

(篠原防災コミ 会長 宮村勇蔵)